

二宮公羽夜話

令和六年 第四回 5/8 (水) 資料

地の巻 (報徳の法則)

第七篇 幸福を永遠にする 推譲の法則

一六三 p.215 四海困窮せば天禄永く絶る

(二林)

(作徳)

(書經)

舞臺の島へ天下を授けし時の權之

中をよめ ↓ 半分を推譲する

一六四 p.216 奪い山人 ↓ 讓 且國民を助ける

不貪

一六五 p.218 山内藤正氏直胤の代官山内総左衛門

(蔵幅の縮図)

分限による中々すくまざる愚

宥坐(座右)の器

虚(かたは)てんは敬つ

荀子の宥坐篇

中 ちよわい証しく

ゆる富強 卷二

満つれば西へ流る

至誠 ↑ 至誠 (至上の訓誡)

一六六 p.222 讓道は高貴永安の法

一六七 p.222 地所の境 讓奪の境

道路の敷地

日村の区別

譲る氣持

一六八 p.223

人道は讓道

譲道がある

人徳

大事

天の道は譲道

一六九 p.225 讓れぬ者は何もできない

一七〇 p.228 代目(二)の方の心 備々方(一)の心 為念(二)に(一)の心 ぬれぬ

一七一 p.226 推讓の段階

讓 || 人道。上の讓りは教による

。高有者、有さる者にはよく教よく御の行わさる。

一七二 p.228 湯ふわの教訓

大人はあつて一肩いつく中庸とする

p.229。分度する。一家仁、一國興、仁。一家讓、一國興讓

一人負一戻、一國治乱。其概如此。

此謂「一言積事、一人定國。」(大學)

湯ふわの湯ふようちの

向うへ押す || 仁・義

p.230 顏淵問「仁。子曰克己復禮為仁。」

一日克己復禮、天下歸仁焉。

人間の争は、自分の方にも相手の方にも向ける

奪うに益なく讓るに益あり

讓るに益あり。大争うに益なし

一七三 p.231 無刃之威をひらく人道

一七四 p.231 一事、刃先を手にせず

一七五 p.232 宗家の馬も飼養桶で鏝する

一七六 p.233 推讓を知らぬ高者はまじき者

高者を維持するには、推讓の教があるのみ

①一七七 p.233 現代の文化は前代の推讓

。頭骨をすわの骨は腐らな

。孔子「大成至聖文宣皇帝孔子

釈迦」「大恩教王釈迦牟尼